

第11回もがみがわ水環境発表会プログラム

【平成27年11月7日(土)】

10:00 開会のあいさつ **多目的ホール**

○表彰式「美しい水辺づくり功労賞」 10:05 ~ 10:25

☆鶴岡市立五十川小学校 (鶴岡市)

☆山形県立新庄北高等学校 科学部 (新庄市)

○口頭発表セッションI 10:30 ~ 11:30

座長: 樋水いずみ(山形県環境科学研究センター)

K-1 寒河江川の水質調査~12年間の調査から~

○斎藤優佑、○小林誠之、○田中鼓哲、田中英鉄
(日本大学山形高等学校 生物部)

K-2 ぼくらの魚道製作~地域の個性・活力をはぐくむ川づくり~

○菅野恭也、○長岡慧、○畑佳希、○松田亨善、○皆本和輝
指導者 大野真也、加藤智一
(山形県立山形工業高等学校 環境システム科)

K-3 大沼浮島の探求2014~浮島の成因について~

○鈴木敬之、○佐藤颯人、藤原和樹、飯野棟也、佐竹和也
(山形県立山形中央高等学校 生物部・化学部)

○基調講演 11:30 ~ 12:45

進行: 大岩敏男(美しい山形・最上川フォーラム)

「ため池の水環境と今後の課題について」

~湖沼の水質保全と生物との共生をめざして~

講師: 山形大学農学部 助教 梶原 晶彦 氏

ここ山形でも、多数のため池が農業用水の確保を主な目的として整備されてきましたが、近年では親水空間や水生生物の棲家としての役割も注目されています。今回は主に庄内地方のため池を対象に、周辺環境の変化によるため池の水環境への影響について事例を紹介し、今後のため池の保全の在り方について述べたいと思います。

○ポスターセッション 13:20 ~ 14:15

マルチメディアホール

【かべ新聞】

①寒河江川(寒河江川橋下)水質調べ

(寒河江市立三泉小学校 4年生)

【ポスター】

P-1 蔵王川、酢川の水質調査報告

○今野海杜、遠藤拓光、會田浩史、大場麻未、佐藤颯星、高橋結菜、高嶋恵梨
(山形県立上山明新館高等学校 科学・バイテク・食品加工部)

P-2 馬見ヶ崎川山形市緑町4丁目付近2012年河川改修前後の河床礫の礫種組成について

○大友幸子(山形大学地域教育文化学部)、菊地冠汰(山形大学理学部)
山形大学教養セミナー「記載岩石学」2015履修生【紀野國元気(人文学部)、齋藤彩、角川舜一、胡紅、齋藤鉄馬(地域教育文化学部)、佐藤初洋、鴫田丈洋、山口大貴、江刺和音、眞壁豊治(理学部)、反町百花(医学部)、小泉遥奈、松本晶(工学部)】

- P-3 馬見ヶ崎川山形市緑町4丁目付近の河床礫調査結果
 ○山形大学教養セミナー「記載岩石学」2015履修生【紀野國元気(人文学部)、齋藤彩、角川舜一、胡紅、齋藤鉄馬(地域教育文化学部)、佐藤初洋、鴫田丈洋、山口大貴、江刺和音、眞壁豊治(理学部)、反町百花(医学部)、小泉遥奈、松本晶(工学部)】、大友幸子(山形大学)
- P-4 水生植物の枯死分解に伴う湖沼水質変化に関する研究
 ○八鍬佑香、梶原晶彦、高橋智香(山形大学農学部)
- P-5 朴沢川の水生物観察 (茶道裏千家・富士見庵 東海林社中)
- P-6 飛島クリーンアップ15年の成果と展望 今野吉一(最上川故里ミュージアム)
- P-7 平成26年水質事故の発生状況 須田均(国土交通省酒田河川国道事務所)
- P-8 最上川河口における残留性有機汚染物資のモニタリング調査(Ⅱ)
 辻浩子(山形県環境科学研究センター)
- P-9 海岸漂着物問題啓発事業「スポーツGOMI拾い大会」の実施状況
 大泉茂(美しい山形・最上川フォーラム)

○口頭発表セッションⅡ 14:20 ~ 16:00 多目的ホール

座長:佐藤勉(山形県環境科学研究センター)

- K-4 山形県における海岸漂着物対策、4年間の成果
 美しいやまがたの海プラットフォーム協働事務局
 ○大谷明(特定非営利活動法人パートナーシップオフィス)
- K-5 山形県内の地下水窒素汚染対策の事例について
 沼澤聡明(山形県環境科学研究センター)
- K-6 浄化槽とそこに現れる微生物 長谷川冬波(一般財団法人山形県理化学分析センター)
- K-7 ディスポーザーを設置した浄化槽の調査について
 公益社団法人山形県水質保全協会 青年部
 ○高橋義隆(公益社団法人山形県水質保全協会)
- K-8 好気性消化法におけるT-Pの実態調査 大山和彦(公益社団法人山形県水質保全協会)

16:00 閉会のあいさつ

※要旨(カラー版)は美しい山形・最上川フォーラムのホームページでご覧いただけます。

HP: <http://www.mogamigawa.gr.jp/>